

(様式第1号)

新規調査研究計画書（全体計画）

調査研究 課 題	カンピロバクター属菌の菌数測定技術とPFGE法（パルスフィールドゲル電気泳動法）を用いた疫学に関する調査研究
計画期間	平成24年度～ 年度27年 4年間
背 景 必 要 性	<ul style="list-style-type: none">・茨城県で発生した食中毒は、カンピロバクター属菌が最も多い。・食中毒の主な原因食品とされている食鳥肉からのカンピロバクター属菌の検出率は100%とされている。・茨城県の食鳥処理羽数は全国第2位であり、他県と比較し、原因食品提供リスクが高い状況にある。
目 的	<ul style="list-style-type: none">・MPN（最確数）法による煩雑な菌数測定法について、検査担当者が精度管理できるように技術情報を提供する。・県内で分離されたカンピロバクター属菌について、PFGE法を用いた疫学解析を行い、カンピロバクター汚染対策に汚染源究明のための科学的根拠を提供する。
計画内容	<ul style="list-style-type: none">・MPN法による菌数測定法について、精度を確保できるための技術を検討する。・県内で分離されたカンピロバクター属菌について、PFGE法を用いた疫学解析を検討する。
研究目標 （達成しよ うとする成 果及びその 活用方法）	<ul style="list-style-type: none">・MPN法を用いた菌数測定法について、検査担当者が精度管理できるよう技術を確立する。・カンピロバクター属菌について、疫学解析のための科学的根拠であるPFGE法を取り入れた手法を確立する。
実施上の 課題及び 対 応	関係機関からの、疫学情報の入手及び菌株の提供。
備 考	